

ARTBAY
TOKYO

別紙

令和5年8月吉日
アートプロジェクト実行委員会

長場雄によるVR作品を公開！多彩なアートに出会う、触れる、10日間 詳細プログラム発表「ARTBAY TOKYO アートフェスティバル2023」

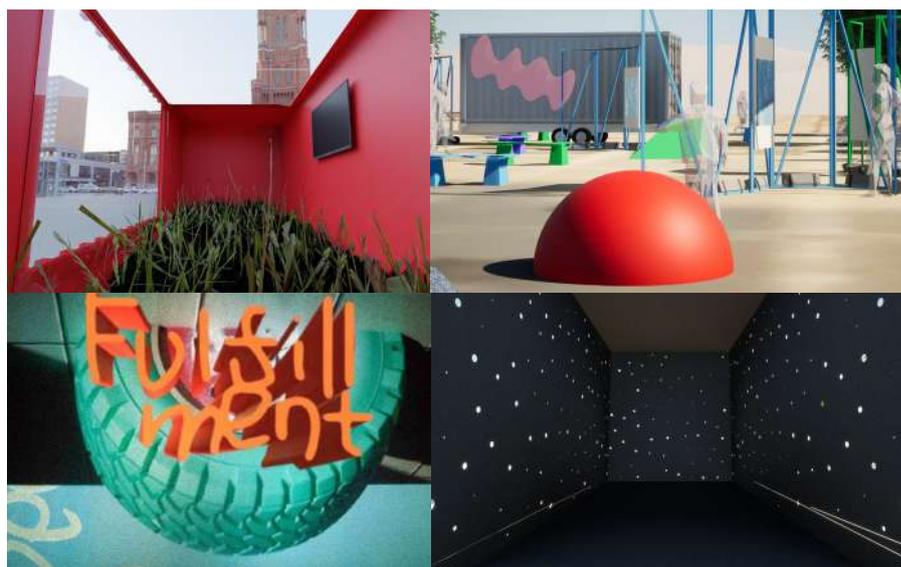
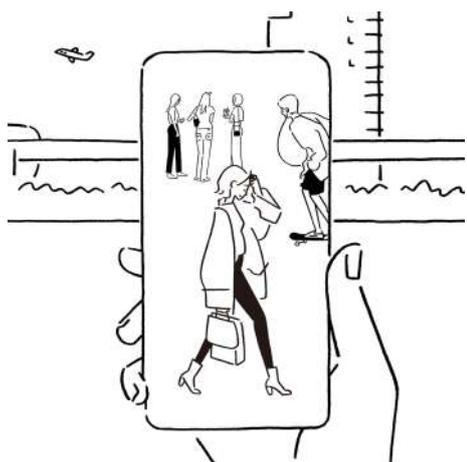
テーマ :CIRCULATION～まちもひとつもせかいもめぐる～

日時:2023年9月15日(金)～24日(日) 10:00～18:00 ※エリア・日時により異なる

アートプロジェクト実行委員会は、臨海副都心エリアを舞台にしたアートフェスティバル「ARTBAY TOKYO アートフェスティバル2023～CIRCULATION～」を2023年9月15日(金)～24日(日)の10日間にわたり開催いたします。

「ARTBAY TOKYO」は、臨海副都心エリアをアートで彩るプロジェクトです。海を臨む開放的な空間で開催するアートフェスティバルは、今年で2回目を迎えます。

この度、長場雄による描き下ろし作品と最新のXR技術が融合した新作を公開するほか、物流コンテナを舞台に、新進アーティストたちのダイナミックなインスタレーション作品を展示するなど、本イベントのプログラム詳細が決定いたしました。



約25のプログラムで臨海副都心エリアがアートに染まる

今年のテーマは「CIRCULATION～まちもひとつもせかいもめぐる～」。「循環」や「巡回」「周遊」を表す言葉から、先進的なテクノロジーを使った作品や、サーキュラーエコノミーを意識したワークショップ、この場所ならではの素材を活用したインスタレーションなどを展開します。会場では、約25のプログラムを通して、都市と人の関係性や、自然と人との共生、時間の循環を感じていただけます。

「ARTBAY TOKYO アートフェスティバル 2023」の玄関口となる「シンボルプロムナード公園内 花の広場」や隣接する「シンボルプロムナード公園内 石と光の広場」では、街で暮らす人々の日常を温かみのある筆致で描き出す長場雄をはじめ、新進のキュレーター Yoshidayamar(吉田山) によるキュレーションのもと、今注目を集める現代アート作家がそれぞれの視座・手法を用いて表現するパースペクティブな作品展示を行います。

そのほか、街がまるごとアート作品になる、ダイナミックなARアート作品を用いた参加型アート体験やBMW GROUP Tokyo Bay、日本科学未来館などの施設で繰り広げられるワークショップ、ライブペインティングなど、臨海副都心エリアの屋外や屋内の複数の会場で、多彩なプログラムが行われます。

秋の気配を感じる9月、臨海副都心エリアの未来の風景を想起させるような、出会いに満ちたアートフェスティバルを、ぜひお楽しみください。

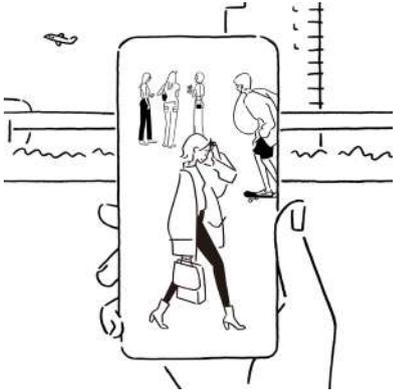
※各プログラム詳細は、次頁以降をご参照ください。

「ARTBAY TOKYO アートフェスティバル2023」
キービジュアル デザイン: MACCIU

A シンボルプロムナード公園内 花の広場

メイン会場のスタート地点を彩る、長場雄によるVR作品

Everyday Life



展示のほか、スマートフォンをかざすと、ARやVRによって長場の作品世界がたち現われ、もうひとつの世界が目の前に広がります。親近感や暖かさ、そして遊び心を取り入れた作品が、メイン会場のスタート地点を彩ります。

僕は街を歩いてるとふと目に入る人物にとっても惹かれる事がある。
彼らはどのような経緯でその場所においてそのような格好をしてそのような表情をしているのか一瞬の出来事なので僕は見たこと以上のことを知らない。
僕は彼らを描くことで自分の世界に引き込み、僕の世界の住人になってもらう。
僕の世界でも彼らは生活をしている。
天気もいい日もあれば悪い日も、気分が落ち込んだり上ったり毎日何かしらの出来事がある。
そんな僕を描く世界をVRを通して楽しんでもらえたら嬉しいです。

長場 雄

1976年東京生まれ。東京の美術大学を卒業後、アパレル会社に勤務後フリーに転向し、作家活動を本格的に開始。2014年に現在のスタイルとなる白黒のラインのみで構成された作品を発表。雑誌『POPEYE』の表紙に起用されたことをきっかけにその作風が世に知られ、国内外の名だたるブランドとコラボレーションを発表。国内および香港、台湾での個展開催など国内外で注目を集め続けている。

- 場所：シンボルプロムナード公園内 花の広場
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：不要

A シンボルプロムナード公園内 石と光の広場

Biotope Circles-生きるものたちの息づかいが聴こえる場所



パースイメージ

展示作品の詳細を公開



パースイメージ

『循環』をテーマとした野外での展覧会です。キュレーターのYoshidayamar(吉田山)と建築家のコレクティブである“GROUP”、そしてコラボレーターの奥多摩美術研究所が展覧会のための舞台を設計。新進の現代アート作家たちが無機物・有機物を用いて、それぞれの表現手法で“Biotope Circles”(生きるものたちの息づかいが聴こえる場所)を多角的に作り上げていきます。展覧会舞台の中核を成すのは、海を臨む臨海副都心の風景の象徴であり現代人の営みを支える「コンテナ」。さまざまな海を越えてきたコンテナを循環の象徴とし、表現の舞台として設置することで、物流を代表とした経済の営みと生物の営みをアートで結びつけるこれまでにない取り組みを展開します。

- 場所：シンボルプロムナード公園内 石と光の広場
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：不要

《intermodal garden》

全ての点で自然を念頭におくこと。土地の精霊に相談せよ。

-アレクサンダー・ポープ

コンテナの中に詰められた土はこの埋立地から採集した土で、まばらに生える草本は元から土中に存在していた無数の種子がポリカーボネート製の窓から差し込んだ太陽光などによって発根・発芽したものだ。水分は吸水と蒸散を通して空気や茎や土の間を移動しコンテナの中を循環している。

もしこの作品を購入したなら大型コンテナ船に積載し、世界のどこかのフリーポートに輸送、保管してほしいと思っている。

intermodal gardenは物流の中に存在し埋立用残土から生命を育む。

人造のシステムを天然自然とし、年を経るごとに、あるいは四季折々に姿形を変える、移動し続ける庭を作る。

石毛健太

アーティスト、エキシビジョンメーカー、他副業多数。参加するプロジェクトにUrban Research Group、SCAN THE WORLD、インストールメンツがある。主な個展に『アイオーン』(BIYONG POINT, 2020)、主な企画に『working/editing 制作と編集』(アキバタマビ21,2020)がある。

《タイヤトラッカー 達成“Fulfillment”への途上タイヤ》

タイヤトラッカーとは、達成“Fulfillment”途上にあるタイヤの情報を集める収集型プロジェクトである。“Fulfillment”とは物流用語で主には、商品の受注から決済に至るまでの業務全般に関することを意味し、直接的には“充実”と訳される。

このプロジェクトでは達成“Fulfillment”をテーマとし、畑の隅、駐車場、住宅の敷地内、庭に転がっているような自動車から外されたタイヤに注目。本作は、そのようなタイヤの情報を求めるインフォメーションセンターと、集められたタイヤの3D映像作品を組み合わせた複合型のインスタレーション作品となっている。

物流は常に達成“Fulfillment”を目指し、共にあるが、その達成“Fulfillment”側からは、達成“Fulfillment”の状態を把握することはない。こういった一方通行なコミュニケーションの中で達成“Fulfillment”へ向かうとする道程をこの作品は指し示している。タイヤトラッカーは、物流するタイヤが、その存在をもって示す奥ゆかしい視座を意識し、達成“Fulfillment”が現実的にあり得るのかを確かめるために、記し、伝えていく。

藤倉麻子

1992年埼玉県生まれ。都市・郊外を横断的に整備するインフラストラクチャーや、それらに付随する風景の奥行きに注目し、主に3DCGアニメーションの手法を用いて作品制作をおこなっている。近年では、埋立地で日々繰り広げられている物流のダイナミズムと都市における庭の出現に注目し、新たな空間表現を展開している。

A シンボルプロムナード公園内 石と光の広場



ベースイメージ

《ラリー・ショウ》

かつて、ひとびとはラリー・ショウ「Raree show」と呼ばれる箱によって、日本では「覗き機関(のぞきからくり)」と呼ばれている物にある「のぞきあな」を覗いて、ここではない別の世界を想像していた。それは箱の中に開けられた小さな穴を覗いて、大きな世界を想像していたという。時を経て、いつしか小さく光る箱の虜になった我々は、それを通して世界の日常を知ることができるようになる。他人の経験は自身の経験となり、既視感との戦いが始まった我々は、ついに視覚のユートピアを脳内に発見した。世界を旅した現代の箱としてのコンテナから、今改めて世界を耳で覗くことを促す機関であるラリー・ショウを制作する。

細井美裕

1993年生まれ。マルチチャンネル音響をもちいた屋内外のサウンドインスタレーションや舞台公演、自身の声の多重録音を特徴とした作品制作を行う。

これまでの展示にNTTインターコミュニケーション・センター [ICC]、山口情報芸術センター [YCAM]、東京芸術劇場、愛知県芸術劇場、長野県立美術館、国際音響学会、羽田空港など。



過去の展示作品《鳩を待つ食卓》2020年

《鳩を待つ食卓 A table waiting for pigeons》

ものが動くという事は、つまりそのものを宿主にしている何億もの虫や微生物たちの大移動を同時に意味する。物流の拠点である港ではそういった船やコンテナや、そして人間までもを媒介にして、密かにさまざまな生き物たちが交流をしているのだ。近代以降、人類の移動の象徴であるものの一つ、車。その車を人間以上に開く事によって車を越えた機能を顕在化させる、というのが本作品の試みである。

渡辺志桜里

1984年東京生まれ。代表作《サンルーム》において、身近な存在であった皇居から採取された植物、魚、バクテリアなどを別々の水槽に分離させ、ホースで繋ぎ、水を循環させることで、自動の生態系をつくり出した。このシステムはアップデートを重ねることによって人類絶滅後も永続可能な生物の営みを維持している。

主な個展：「久地良」(デカメロン歌舞伎町,2022)、「Nipponia nippon」(SYP gallery,2022)、「ベベ」(WHITEHOUSE,2021)

奥多摩美術研究所も参加決定！ 気鋭のキュレーターと建築集団による、アートのステージが出現



《のけもの》2021年

キュレーター

Yoshidayamar(吉田山)

Art Amplifier(アート・アンプリファイア)

屋外での遊歩での経験を基に、環境の延長としての仮設空間や概念を構想する。アウトプットとしてアートスペースの立ち上げや作品制作、展覧会のキュレーション、ディレクション、コンサルティング活動をおこなう。近年の主なプロジェクトとしては、The eyes of the wind/風の目たち(obscura,2022)、MALOU A-F(Block House,2022)など。

2023 Atami Art Residenceディレクター

2022 シビック・クリエイティブ・ベース東京(CCBT)アーティストフェロー



《海老名のアトリエ付きシェアハウス》2021年

舞台設計

GROUP

井上岳、大村高広、齋藤直紀、棗田久美子、aによる建築コレクティブ。

主な活動：設計・施工「新宿ホワイトハウスの庭」(東京都,2021)、設計・運営「海老名芸術高速」(神奈川県,2021)、企画・編集「ノーツ 第一号 庭」(NOTES EDITION,2021)、グループ展「浴室の手入れ」(PROJECT ATAMI,2022)、個展「手入れ / Repair」(WHITEHOUSE,2021)、会場構成EASTEAST_TOKYO(2023)など。

舞台設計

奥多摩美術研究所

「美術」と社会とどのように関わっていけるのかを模索していくために2018年、奥多摩美術研究所という会社をつくった。この会社の事業内容は7つ。① 美術の研究発表② 展覧会の企画運営③ 作家の紹介支援④ 作品の発表販売⑤ 商品の企画販売⑥ 物の図化資料化⑦ 展示造形物の作製。企画の内容や規模によって仲間を集め、実現させていく。仲間は大体それぞれが作家として活動している。みんなの持てる力を結集させ「美術」を面白くしていきたい。



A シンボルプロムナード公園内 石と光の広場

SPECTRUM FUSION-光と無重力のアートパフォーマンス-



コンテナに囲まれた特別なアート空間で、エアダンス(鉄棒ダンス)で世界を魅了するパフォーマンスが一夜限りのスペシャルステージを開催。世界中でショーをおこなってきた上西隆史が、所属ユニット「AIRFOOTWORKS」のメンバーと共に、観客を幻想的な世界へと誘います。光と音、そして映像演出が組み合わさることでその表現が拡張し、未来の芸術表現を体感できる傑作として観客を魅了します。

- 場所：シンボルプロムナード公園内 石と光の広場、東京ビッグサイト
- 日時：9月23日(土)19:00-20:00 予定
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：不要

A 東京ビッグサイト

東京国際プロジェクションマッピング アワード-ART FESTIVAL 特別上映-



「東京国際プロジェクションマッピングアワード」は若手クリエイター人材の発掘・育成と、空間映像技術の高度化と普及を目的に立ち上げられた日本最大級のプロジェクションマッピングのコンテストで今年で8回目を迎えます。昨年度アワードの優秀作品の初上映に加え、9月23日にはアートフェスティバルとのコラボレーションで選別された作品の数々を特別に上映いたします。東京ビッグサイトを舞台に鮮やかな映像作品が次々に投影され祝祭感を演出します。

- 場所：東京ビッグサイト
- 日時：(1) 昨年度アワード優秀作品上映
【2日間】9月15日(金)16日(土)18:30-19:00 予定
(2) ART FESTIVAL 特別上映9月23日(土)19:00-20:00 予定
※天候等により変更や中止となる場合がございます
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：不要

B テレビ朝日施設建設予定地

Tokyo Bay Palette



日本のサブカルチャーやミュージックシーンで活躍中のイラストレーター「がーこ」が、「臨海副都心エリアを巡る過去、現在、未来」をテーマに全長25メートルにもおよぶ壁画作品を制作。現在建設中のテレビ朝日・商業施設の仮囲いアートワークとして展示します。



がーこ

MV制作を中心に、アルバムジャケットやキャラクターデザインなど幅広く制作。代表作に DUSTCELL『Caffeine』MV、獅子志司『バランサー』MV、理芽『チクタクボーイ』MVなど。

- 場所：テレビ朝日施設建設予定地
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：不要

Characters on the surface



パースイメージ

個々にはキャラ立つはずのキャラクターがアブストラクト化した表面模様になり、公衆トイレ前の壁画を彩るアートワーク。

人は常に具体的なものと抽象的なものの混ざり合う世界に存在しています。具体性を帯びたものと、抽象性の高いもの、それぞれを改めて意識することで、見えてくる物事の本質とは？

※キャラクターデータにはメタバースアイドル「めたしっぷ」を使用。

- 場所：テレビ朝日施設建設予定地
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：不要

A-C 花の広場／石と光の広場／夢の大橋／夢の広場

CIRCULATION BALL-まちもひともせかいもめぐる-



コンテナのそばに巨大なボールを設置。スマートフォン内でボールが転がり、リアルな風景と融合し、ダイナミックなAR体験をお楽しみいただけます。制作：STYLY (<https://styly.cc>)

街全体が壮大な実験装置のようであり、地域全体を巡りながらその連鎖反応を感じられるアートワーク。

花の広場・石と光の広場・夢の大橋・夢の広場の4ヶ所を巡る体験型ARアート作品です。XRアプリ「STYLY(スタイリー)」を立ち上げ、スマートフォン越しに臨海副都心の風景を見ると、そこにはまちをダイナミックに駆け巡る赤い大きなボールが…。ボールの存在を通して、まちの新たな魅力に気付いたり、「ひと」と「せかい」の有機的な関係に想いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

- 場所：シンボルプロムナード公園内 花の広場、石と光の広場、夢の大橋、夢の広場
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：不要

D シンボルプロムナード公園内 夢の広場

COLORFUL THEATER



パースイメージ

テレビ番組の美術セットの廃材を活用して、カラフルなシアターステージを制作・設置します。このステージは来場者の皆さんと作り上げる参加型アート作品。来場者の皆さんには画材や廃材を活用して、ステージをより華やかに彩っていただけます。舞台の上で自由にパフォーマンスをしたり、舞台の主人公のような写真を撮影したり、秋の公園で楽しいアート体験に出会うことができます。全体監修：art to ART Project

- 場所：シンボルプロムナード公園内 夢の広場
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：不要

絵本作家・宇都宮琴音と描くカーペイントワークショップ supported by MINI TOKYO BAY



絵本作家、イラストレーターとして活躍中の宇都宮琴音さんと一緒に、「MINI」の車体にアクリル絵の具などを使って絵を描くワークショップを開催します。制作のテーマは「FESTIVAL」。アートの祭典の場に似合う、にぎやかで色鮮やかな作品と一緒に制作してみませんか？

宇都宮琴音

東京都生まれ。多摩美術大学テキスタイルデザイン専攻卒業。卒業後すぐに me ISSEY IMAKE の服や小物に作品が使用される。2018年から2021年までプラハ工芸美術大学イラストレーション&グラフィック学科に留学。2021年度の『Miroslav Šašek foundation』受賞作品『ももちゃんのみならいまじょ』は、東京美術にて本年2月に出版される。現在は東京を拠点に絵本作家として活動中。

- 場所：シンボルプロムナード公園内 夢の広場
- 日時：9月17日(日)・18日(月・祝)11:00-12:00、12:00-13:00 予定
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：必要

THEATER WORKSHOP PARTY



週末と祝日には、「カラフルシアター」の周辺で、様々なワークショップをご用意します。廃材を使ってオリジナルの【仮面】作りや、キャンディーを使ったアクセサリーを作って、シアターの主役になってみませんか？みんなでPARTYの準備ができれば、仕上げはエリア内を廻るパレードで締めくくります。(パレードは23、24日の2日間開催予定です)

全体監修：art to ATR Project

- 場所：シンボルプロムナード公園内 夢の広場
- 日時：9月16日(土)・23日(土)・24日(日)10:30-12:00 予定
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：必要

D シンボルプロムナード公園内 夢の広場

FOOD & DRINK



芝生が広がる夢の広場は来場者のみなさんに、アートフェスティバルの様々なアクティビティを楽しんでいただく拠点です。このエリアにはお腹を満たしてくれるキッチンカーの美味しいフード&ドリンクメニューをご用意しました。アートと共にぜひお楽しみください。(土日祝日限定)

●場所：シンボルプロムナード公園内 夢の広場

のんびり自動運転ベンチで音声ARガイド体験



公園のベンチのような形状をした小型自動運転モビリティ「PARTNER MOBILITY ONE」に乗って、夢の広場から夢の大橋を渡るコースをご用意しました。この乗り物は久留米工業大学とパーソルクロステクノロジー(株)、Le DESIGN(株)の3者が共同開発したもので、ご家族やご友人と一緒に、のんびりと景色や会話をお楽しみいただけます。また、LOOVIC(株)の音声ARガイドもご用意。素敵な想い出づくりのお手伝いをします。

●場所：シンボルプロムナード公園内 夢の広場

●日時：9月15日(金)～24日(日)※9月19日(火)除く
11:00、12:00、13:00、15:00、16:00、17:00

●参加・入場料：無料

●事前申し込み：不要

E BMW GROUP Tokyo Bay

ジェシカ美術部プチ展覧会 ～supported by BMW Tokyo Bay～



テレビ朝日バラバラ大作戦で絶賛放送中の「ジェシカ美術部」の放送内で真空ジェシカが作り上げた作品達が鑑賞できる展覧会です。ゲストのアーティストを迎えて共に作った作品をはじめとして、番組人気コーナー「ゾクゾクさん」で登場したゾクゾクする作品や「サヨナラ絵描き歌」のオリジナルキャラクター達も展示されています。プチ展覧会限定のフォトスポットも設置。

●場所：BMW GROUP Tokyo Bay ※9月19日(火)除く

●参加・入場料：無料

●事前申し込み：不要

ジェシカ美術部文化祭 ～supported by BMW Tokyo Bay～



番組放送開始から約半年、応援してくださる皆様を迎えて初公開収録イベントを開催!! 8月から「ジェシカ美術部」で放送したチョーヒカル先生と真空ジェシカが、全身全霊を込めて制作した「BMWカーペイント作品」が目の前に登場! 真空ジェシカが最後の筆入れをして作品を完成させます。そして、公開収録ならではの「マル秘」特別企画やこれまでの思い出・苦労話や今後の目標について語り合うトークコーナーなど内容盛り沢山でお届けします。

●場所：BMW GROUP Tokyo Bay

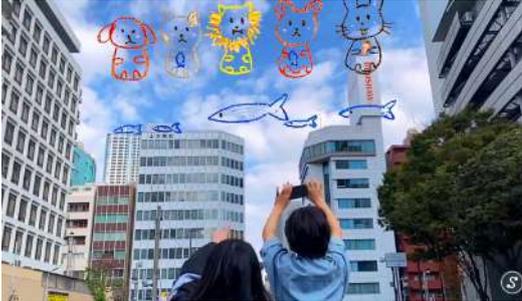
●日時：9月18日(月・祝)14:30-15:30

●参加・入場料：無料

●事前申し込み：必要

WHAT IS A BORDER? 境界線ってなに？ (アート×テクノロジーワークショップ&展示)

テクノロジーとアート、未来と現在、ヒトと空間、現実と仮想。別々に思えるけれど、その境界線ってどこにあるんだろう？ そもそも、分かっているのかな？ 分けられるのかな？ というテーマを据え、展示されている作品やワークショップを通して子どもたちと未来のテクノロジーや自分自身の存在に思いを巡らせていただく体験を提供します。



空にお絵かきしよう！ STYLY「AR空中らくがき」

XRアプリ「STYLY(スタイリー)」の「AR空中らくがき」は、誰でも簡単に自分の絵を空に映し出せるAR体験です。描いた絵をスマートフォンで撮影してSTYLYアプリにアップロードすると、自分の絵が空に映し出されます。もちろんそのまま絵と一緒に記念撮影することもできる、親子で楽しめるワークショップです。

キャラクターや動物など、好きなものをたくさん描いて空を彩りましょう！

- 場所：日本科学未来館
- 日時：9月15日(金)～24日(日) ※9月19日(火)除く 10:00-17:00
- 事前申し込み：不要



メタバースの境界線-降らない雨を感じている-

参加者にはアバターになって、TOKYOBAYエリアをイメージしたVR空間を散策していただきます。そしてリアルな会場とつながる<ミラースクリーン>を通じて、自分のアバターとリアルな自分が対面するという不思議な体験をすることができます。VR空間に降り続く雨とリアルな空間との差異にどんな感情が沸き上がるでしょうか？ 大阪関西国際芸術祭でも出品された「Metaverse Boundary」シリーズのインスタレーション作品です。

- 場所：日本科学未来館
- 日時：9月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝)10:00-17:00
- 事前申し込み：不要



ワークショップ「AIは友だち？-人とAIの違いはなんだろう？」

本ワークショップでは人とAIの境界線について考えます。ドラえもんをつくるためにAIロボットの研究をしている大澤正彦先生、そして研究室の学生たちと一緒に最新のAIを使ったゲームやお絵かきにチャレンジ！ 私たちはAIと何が違うのか、そもそも人とは何なのでしょう？ AIと人“らしさ”について探求します。

- 場所：日本科学未来館
- 日時：9月23日(土)・24日(日)10:00-11:30、12:30-14:00、15:00-16:30
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：必要



KMD Embodied Media Project「感覚の箱庭」

KMD身体性メディアプロジェクトでは、新しい身体的経験を生み出すメディアテクノロジーを創っています。会話に合わせて変化していく世界、手で触れられるときの不思議な錯覚、音だけで浮かび上がる風景。 「感覚の箱庭」では、人間の感覚を拡張したり変容させたりする様々な体験ができます。体験を通して、その先に広がる未来の世界を想像してみてください。そしてそこには、あなただけが気づく、新しい感覚が転がっているかもしれません。

- 場所：日本科学未来館
- 日時：9月23日(土)・24日(日)10:00-17:00
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：不要

F 日本科学未来館

DIC

ナビゲーションロボット 「AIスーツケース」 次世代ナビ体験



ナビゲーションロボット「AIスーツケース」次世代ナビ体験

日本科学未来館などが開発を進める「AIスーツケース」は、視覚障害者を目的地でナビゲーションするスーツケース型のロボットです。行きたい場所を指示すると、スーツケースが自動で動き、道案内をしてくれます。今回は施設と公共交通機関を結ぶ「まち歩き」を想定し、日本科学未来館からゆりかもめ「テレコムセンター駅」改札までをつなぐ「まちナビ体験」と、未来館の1階館内を自由に散策する「未来館ナビ体験」の2つの体験プログラムを用意しています。

- 場所：日本科学未来館、シンボルプロムナード公園、ゆりかもめ「テレコムセンター」駅
- 日時：9月15日(金)～24日(日) ※9月19日(火)除く
「まちナビ体験」 10:30-11:30、13:00-14:00、15:30-16:30
「未来館ナビ体験」10:30-12:00、14:00-15:30
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：「まちナビ体験」は必要

G ダイバーシティ東京 プラザから出発・周遊

ARTBAY TOKYO アートフェスティバル2023 de 宝探し



臨海副都心エリアでアートに触れる謎解き宝探しを体験いただけます。「伝説の未発表作品を探す」という目的のもと、アートフェスティバル会場を謎を解きながら巡り、宝箱を見つけてください！参加冊子はダイバーシティ東京 プラザ5F カードデスク前や、石と光の広場、夢の広場のインフォメーションで配布しています。

ハンターズヴィレッジ(宝探し)ページ：<https://huntersvillage.jp/quest/artbaytokyo2023>

- 配布場所：ダイバーシティ東京 プラザ5F カードデスク前（石と光の広場、夢の広場でも配布）
- 参加・入場料：無料
- 事前申し込み：不要

そのほか

シティパッチワークガイドツアー



「シティパッチワーク」とは、都市の中で見過ごされがちな小さなほころびを、アートのチカラで修復するプロジェクトです。参加者には、カラフルな廃材を使ったパッチワークの手法で会場内の各エリアに共同で小さな「住処」を一緒に作ってもらいます。皆さんと一緒に、有明のダイナミックな都市の景観に小さな発見と、まちを彩る楽しさを体験してもらいながら、各エリアの作品についてもご紹介していきます。

- 集合場所：シンボルプロムナード公園内 石と光の広場から出発→夢の大橋→夢の広場を周遊
- 日時：9月17日(日)・24日(日)15:00-16:30
- 参加料：無料
- 事前申し込み：必要

ARTBAY TOKYO アートフェスティバル 2023

イベント名： ARTBAY TOKYO アートフェスティバル2023
テーマ： CIRCULATION -まちもひととせかいもめぐる-
日時： 2023年9月15日(金)～24日(日) 10:00～18:00 ※エリア・日時により異なる
開催場所： 臨海副都心エリア
シンボルプロムナード公園内 花の広場・石と光の広場(東京都江東区有明3-7)…A
テレビ朝日施設建設予定地(東京都江東区有明3)…B
シンボルプロムナード公園内 夢の大橋(東京都江東区有明3-1-10)…C
シンボルプロムナード公園内 夢の広場(東京都江東区青海1-3)…D
BMW GROUP Tokyo Bay(東京都江東区青海2-2-15)…E
日本科学未来館(東京都江東区青海2-3-6)…F
ダイバーシティ東京 プラザ(東京都江東区青海1-1-10)…G

参加・入場料： 無料

主催： アートプロジェクト実行委員会
東京都港湾局、(株)東京臨海ホールディングス、東京港埠頭(株)、(株)東京ビッグサイト、日本科学未来館、
(一社)東京臨海副都心まちづくり協議会 アートアドバイザー：(公財)彫刻の森芸術文化財団

企画・運営： (株)テレビ朝日

お問合せ： アートプロジェクト実行委員会 (Mail: artbayfes2023@tv-asahi.co.jp)

ウェブサイト： <https://artbayfes2023.com/>

X(旧Twitter)： @artbaytokyo

Instagram： @artbaytokyo

関連リンク： ARTBAY TOKYO : <https://artbaytokyo.com/>

エリア MAP

